

生涯学習・社会教育関係職員研修講座【三八地区研修】

10月4日(水)13:30~15:40 階上町道仏交流センター 受講者26名

1 趣旨

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上とネットワーク形成を図ることを目的に、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得のための研修を行う。

2 内容

【講義】「地域を活性化させるためのつながりづくり」

いちのせき市民活動センター

センター長 小野寺 浩樹 氏



3 講義要旨

- 地域づくりは、地域に住むすべての人が、豊かな経済生活を営み、優れた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を継続的に、かつ安定的に維持するために必要です。
- このままの地域運営では、将来的に維持・継続が困難になります。地域運営は転換期です。コロナ禍を経験した今だからこそ一旦立ち止まって、地域づくりに何が必要で何が不要でないかを考えることが大切なのです。
- 地域づくりには社会教育が必要です。社会教育とは、現代的・社会的な課題に関する学習を通じて、地域住民の自立に向けて学んだことを実生活の中で生かすということです。それを地域づくりに結びつけることが重要なのです。
- これからの時代という発想から、次世代（若者）の意見や行動力に期待するのではなく、高齢者の知識や昔の話も取り入れ、地域らしさを残しながら、地域づくりを連携・協働して行いましょう。

4 受講者の感想から

- ・社会教育を担う立場として、大変参考になるお話でした。コミュニケーション=コミュニティづくり、限りある資源の活用はまさに現状課題でした。地域らしさをこれからも大切にしたいと思います。
- ・生涯学習と社会教育の違いを再認識しました。地域の課題を理解し、自分のできることから取り組んでみたいと思いました。
- ・高齢者や他の大人がもつ地域らしさの考えに、若者のアイデアを取り入れていくことを、今後の事業に大いに活用したいと思います。

本研修は、講師 小野寺氏から、地域づくりに向けた新たな視点を受講者に提供していただきました。また、地域の課題やニーズを把握するための方法についても教えていただき、多くの示唆を受けることができました。社会教育の重要性について、改めて考えることができた講座となりました。

